

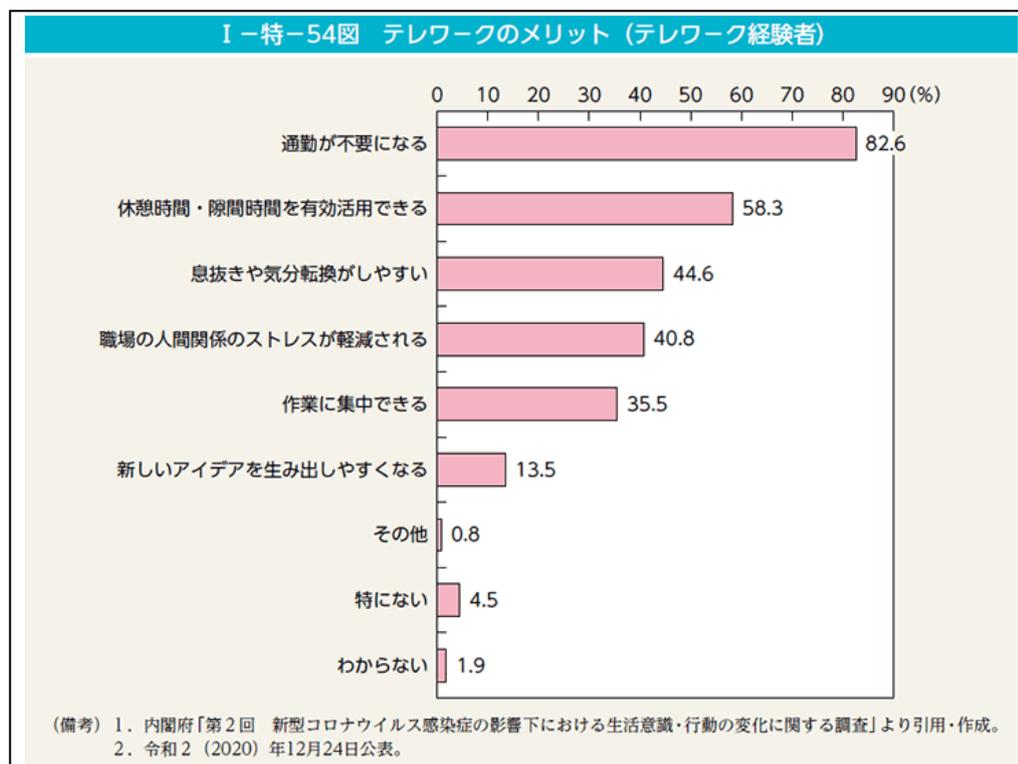
男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q85 コロナ禍で、多くの就業者が在宅勤務のテレワークを経験されたテレワークのメリットとデメリットを教えてください。

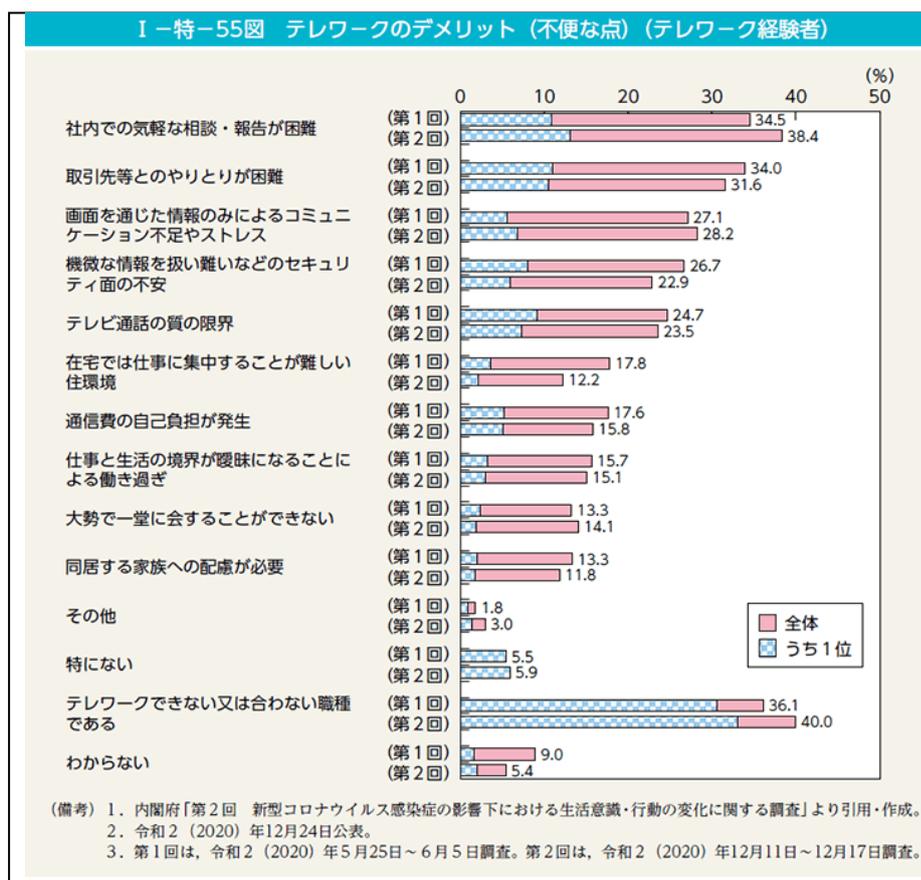
A85 テレワーク経験者は、テレワークのメリットとして、「通勤が不要になる」82.6%、「休憩時間・隙間時間を有効活用できる」58.3%、「息抜きや気分転換がしやすい」44.6%と回答しています（I-特-54図）。デメリットとして、「テレワークできない又は合わない職種である」40%、「社内での気軽な相談・報告が困難」38.4%、「取引先等とのやりとりが困難（機器、環境の違い等）」31.6%と回答しています（I-特-55図）。

1

テレワークのメリットについて



テレワークのデメリットについて

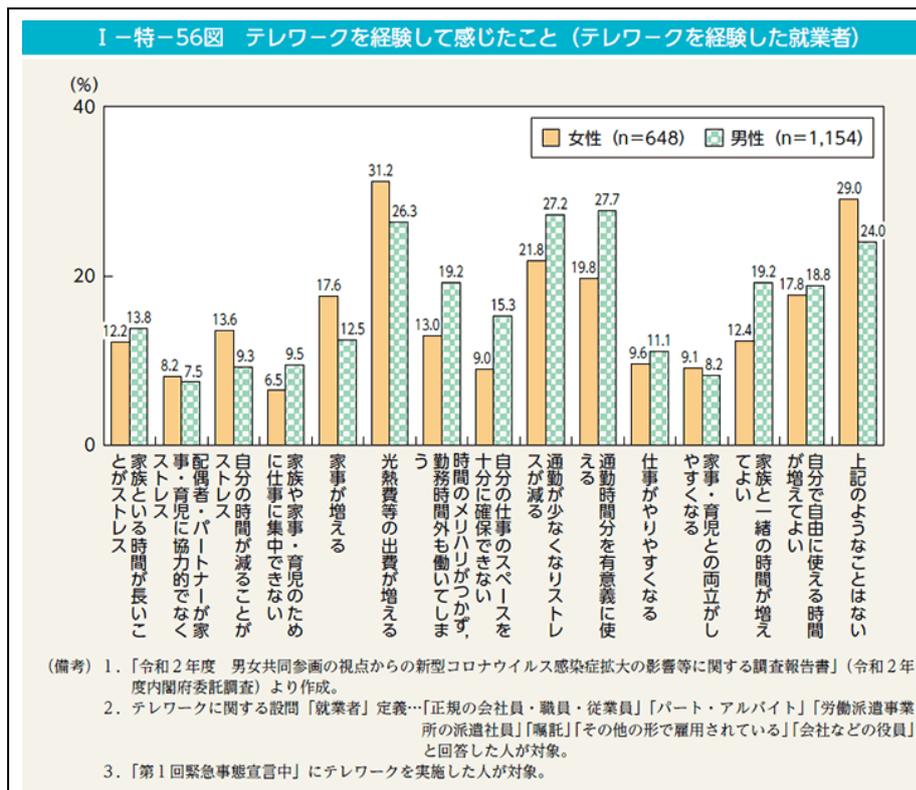


男女別のテレワークの認識の違いについて

テレワーク推進の流れを男性の家事育児参画の促進につなげるには、男女間のテレワークへの認識の違いを確認しておく必要がある。

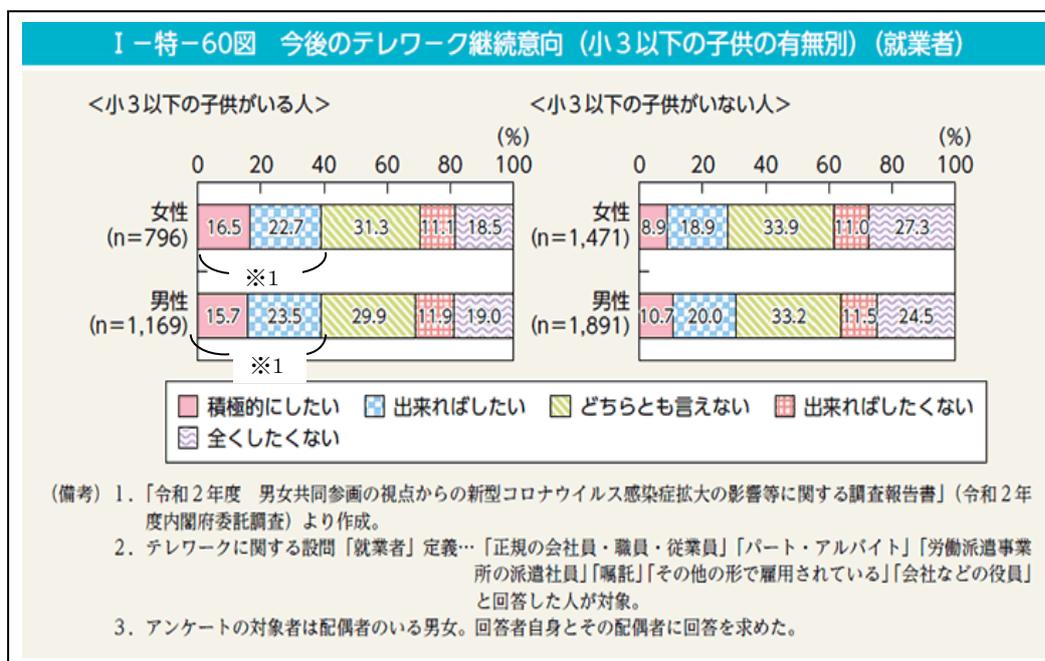
テレワークを経験した就業者の女性と男性について、テレワークを経験して感じたことを比較する。男女間で4%ポイント以上の差となっている項目のうち、女性が感じている割合が高いものが「光熱費等の出費が増える」、「家事が増える」、「自分の時間が減ることがストレス」等であり、女性についてはマイナス要素が高い。一方、男性については、「通勤時間分を有意義に使える」、「通勤が少なくなりストレスが減る」、「家族と一緒に時間が増えてよい」等のプラス要素と、「時間のメリハリがつかず、勤務時間外も働いてしまう」、「自分の仕事のスペースを十分に確保できない」等のマイナス要素がある。女性は、家庭生活における課題を感じ、男性は仕

事についての課題を感じていることが分かる（I-特-56図）。



4

今後のテレワーク継続意向について



※1
39.2

男女別で見ると、小学校3年以下の子供がいる男女はともに、「今後ともテレワークをしたい」が39.2%と、テレワークの継続に積極的でありま